

平成26年度 生駒市土地開発公社第2回臨時理事会 会議録

- 1 日 時 平成26年10月21日(火) 午前10時00分～午前10時20分
- 2 場 所 生駒市役所 403・404会議室
- 3 理事の定数及び現在数 定数 10名以内 現在数 7名
- 4 監事の定数及び現在数 定数 2名以内 現在数 1名
- 5 出席役員 理事 小紫雅史、稲葉明彦、中田好昭、今井正徳、奥谷長嗣、大西清隆、峯島 妙
出席者 7名
監事 松山治幸 出席者 1名
- 6 欠席役員 なし
- 7 説明のため出席した職員 事務局長 増田剛一、事務局長補佐 米田尚起、
坂東大介、坂田昌子
- 8 開 会 理事全員の出席により、理事会は成立
- 9 議事録署名理事指名 奥谷理事、大西理事
- 10 審議事項 議案第5号 平成26年度生駒市土地開発公社事業計画の変更及び補正予算
(第2回)(案)について
- 11 審議内容
議案第5号 平成26年度生駒市土地開発公社事業計画の変更及び補正予算(第2回)(案)に
ついて、原案のとおり可決された。

(主な質疑等)

今井理事： 生活道路安全対策事業用地について、直接市で購入できない或いは公社で購入する理由があるのか。

事務局： 地権者との交渉を現在進めており国交付金の要望が来年度になるため、公社での先行取得を行うということです。

中田理事： 生活道路安全対策事業用地による道路拡幅は東側か。

事務局： そのとおりです。

中田理事： 隅切りを設けるのか。

事務局： 前年度に当該土地の南隣地を購入済で、その続きとして医院の前の駐車場部分を購入するものです。

中田理事： 旭橋はあのままの区域で、入口を広げているだけか。

事務局： 旭橋から北側の元町菜畑線について、用地取得が可能な箇所から順次広げていく方針です。

中田理事： 企業誘致関連道路整備事業用地について。資料の位置図を見てもよく分からないのだが、清滝生駒道路とは国道163号バイパスのことか。

事務局： そのとおりです。資料1の位置図に赤丸を付した場所に工場があり、その敷地に幅員23mの清滝生駒道路が計画されています。生駒市事業はその南側にある北田原中学校線を12mに拡幅するものですが、一部事業用地が重なっています。国・市がそれぞれ買収するという方法もありますが、国の買収に合わせるほうが市にとって有利になるため、国に合わせて推進することとしています。

松山監事： 企業誘致関連道路整備事業用地について。理由で「国の進捗が予定通り進まず」とあるが、その理由はなにか。

事務局： 国による相手方との売買交渉の進捗が年度内での合意が見込めないとの情報が入りましたので、公社の取得をゼロにしました。それと、事業残地というのが出てきますが、道路の取り付けの問題及び付帯する条件の整備などが含まれています。

松山監事： 国の問題で市の問題ではないと承知しているが、来年度は購入できるのか。可能性は。

事務局： その見込みだと聞いていますが、100%ではありません。

稲葉理事： この事業は国の予算配分の関係で、現在地元選出の国会議員を通じて強く要望してもらっている。今年度の補正予算等で箇所付けがあった場合、市も同時に購入できるようにとの意図での公社による先行取得の予算計上だったが、先ほどの事務局の説明

にもあったように補償関係等の交渉が進んでいない。

来年度に関しても改めて国に予算計上を要望しており、市の事業部分に関しても購入できると見込んでいる。

松山監事： この国道163号バイパスについて、国の事業計画は予定通り進んでいるのか。

事務局： 工業団地を含めて用地取得が進んでおり、現在全体の30%ほどの用地取得率と聞いています。

松山監事： その数値は計画通りなのか。

事務局： 事業完了の宣言を国はまだ公表していない路線なので、計画通りという形では聞いていません。

稲葉理事： 現在高山大橋の事業を行っており、平成28年3月の完成を計画されている。また今年の11月には南側に新設した道路との交通切替を予定されている。

この高山大橋の進捗と、四条畷市側の天野川までの部分の用地取得もほぼ完了しているということで、やはり工事関係が進捗すれば、南大角地区と工業団地内が一定促進はされてくるのではないかと考えている。

しかし、当初国が考えていたよりは遅延していると、市としては認識している。

12 その他 役員からの質疑事項

松山監事： 東生駒会社寮跡地について、その後どうなっているか。

今井理事： 売却したKカンパニーによると、公社が売却した部分は電気店、隣接地には食品スーパーを出店する計画で、隣接地の土地所有者と合意している。ただ現在地元との協定を結ぶよう動かれているが、難航していると聞いている。